

水害対策と建築分野の取組み

日時：令和5年3月8日（水）13時～17時
場所：オンライン開催
(Zoom+YouTubeによる配信を予定)

主催：日本学術会議 気候変動と国土分科会
共催：一般社団法人 日本建築学会
公益社団法人 土木学会
後援：一般社団法人 防災学術連携体

■開催趣旨

日本学術会議 土木工学・建築学委員会 気候変動と国土分科会では、気候変動の影響を受けて激甚化する水災害に対応した新たな「流域治水」による防災・減災対策（適応策）のために不可欠となる知見や科学・技術について審議している。

流域治水を効果的に進めるためには、地形特性による影響や気候変動によって年々変化していく豪雨発生状況を踏まえて浸水リスクの態様を把握し、土地利用の規制・誘導等も視野に入れつつ、建築物等における水害対策と、治水インフラ整備との調和・連携を図っていくことが重要である。即ち建築物の立地環境に応じた対策の整備を、治水インフラと建築物側とで連携して進めていく必要がある。

気候変動と国土分科会では、「流域治水に資する建築物の耐水設計検討小委員会」を設置し、建築物に関する過去の水害や対策事例、活用可能な洪水情報を整理した上で、建築物の水害対策の考え方を検討してきた。建築物や地域の水害対策に適用可能な、河川氾濫等による浸水等のハザード情報のあり方とその活用、および必要な活動などの具体的な内容についても、建築（・地域計画）分野と土木分野の技術者が共同で検討することとしている。

本シンポジウムでは、本小委員会にて検討されてきた内容のうち、建築物の水害対策に焦点を当て、今後の具体的な防災・減災につながる活動に向けて、内容を深めるための議論を行う。なお、本シンポジウムは、関連する建築・土木・都市計画分野などの専門家に広く参加を呼びかけ、開催する。

■プログラム

司会 持田 灯（気候変動と国土分科会幹事、東北大学教授）

13:00 挨拶 米田雅子（日本学術会議第三部副部長、東京工業大学特任教授）

13:05 趣旨説明 池田駿介（気候変動と国土分科会 委員長、建設技術研究所研究顧問）

13:10 流域治水と建築物の耐水対策への期待
望月常好（気候変動と国土分科会 副委員長、日本河川協会監事）

13:20 河川氾濫と建築物の被害
二瓶泰雄（東京理科大学教授）

13:40 建築物の水害対策の課題
木内 望（建築研究所研究専門役）

14:00 建築環境面から見た建築物の水害対策
長谷川兼一（秋田県立大学教授）

14:20 建築物の耐水設計に対する取組み（提案）
田村和夫（神奈川大学客員教授）

14:40 土木学会・日本建築学会TFチームにおける取組み
立川康人（京都大学教授）

15:00 休憩（10分間）

15:10 各分野からの意見

建築構造分野の視点から 楠 浩一（東京大学教授）

建築環境分野の視点から 秋元孝之（芝浦工業大学教授）

建築計画分野の視点から 清家 剛（東京大学教授）

都市計画分野の視点から 野澤千絵（明治大学教授）

水害リスクマネジメントの視点から

大原美保（土木研究所主任研究員）

復旧・復興の視点から 荒川尚美（日経アーキテクチャ記者）

16:10 総合討論

司会：久田嘉章（工学院大学教授）

16:55 まとめ・閉会

田辺新一（日本学術会議第三部会員、早稲田大学教授）

■参加申込み

参加ご希望の方は以下のURLからお申し込み下さい。（右のQRコードからも入れます。）

<https://forms.office.com/r/LB20wTdxv0>

■問合せ先

田村和夫 tamkaz.kento@ninus.ocn.ne.jp

